

シルフィードmini(天カセ型) 施工要領書

据付工事を始める前に据付工事説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
電気工事に関しては、第一種・第二種の電気工事士の資格を持った担当者が工事を行って下さい。
この製品にはコントロールスイッチは付属しません。本体にもON-OFFスイッチはありませんので、排気ファン(換気扇)との連動電源で制御して下さい。



排気口付近には絶対に取り付けしないで下さい。

生成された酸素クラスターイオンがそのまま排気され、脱臭効果が発揮されません。

据付要領

①据付位置決め



②天井開口(160角)



③電源線の接続



④本体固定



①据付位置を決める

生成された酸素クラスターイオンがそのまま排気されてしまいますので、排気口付近には設置しないで下さい。

②天井ボードを切断する

天井面に埋込穴を開けて下さい。(160mm角)
天井ボードの厚さは9.5mm~20mmとして下さい。
※吊りボルトでつり下げる必要はありません。
※天井材が弱い場合には、開口部補強用のチャンネルで軽量鉄骨に流して補強して下さい。

③本体の端子台に結線する

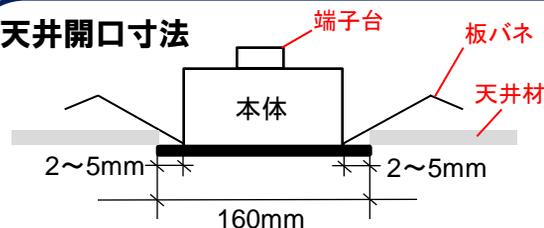
- 電源線100Vの先端を皮むきします。
 - ・適合電線 Φ2.0mm単線 もしくは Φ1.6mm単線
 - ・送り総容量は4A以下です。
- 電源線を速結端子に接続します。
- 結線後、軽く引っ張って抜けないことを確認します。
- 結線部に力が加わらないように施工して下さい。

④設置

板バネを押さえながら天井開口部に本体を挿入し、取り付けを行います。
傾斜天井の場合(0~55度)は吸い込み口側を天井の低い方へ設置して下さい。

- ※本装置は屋内用機器です。屋外では使用しないで下さい。絶縁不良や感電の原因となります。
- ※本装置は天井埋込専用機器です。55度を越える傾斜天井には取付しないで下さい。
- ※ロックウール等のやわらかい天井および珪酸カルシウム板の天井、特殊な断熱施工された天井には使用できません。加熱による発火の原因となります。

天井開口寸法



本体と天井材は必ず2~5mmの隙間をあけてください。
※本体の着脱が出来なくなります。



【板バネの押さえ方】



【据付例】

試運転

- 本体の据付工事が終了後、結線が間違っていないか確認して試運転を行って下さい。
- ※運転開始1分間はアイドリング状態でファンは回りません。
- ※吹き出し付近には放電部があり、手を入れると危険です。